



2024年9月12日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証グロース)
問合せ先 取締役 増田 隆一
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

2024年6月期決算 決算説明会の実施について

以下のとおり、2024年6月期決算について、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催しましたので、お知らせいたします。

記

■ 開催状況

日時 : 2024年9月11日(水) 16時00分開始

形式 : オンライン動画配信

■ 添付資料

2024年6月期決算 機関投資家向け決算説明会ご説明資料

以上



Precision
System
Science

2024年6月期決算 機関投資家向け決算説明会 ご説明資料

2024年9月12日

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社





全体概要

- 新PSSグループへの軌跡
- 2024年…事業体制変革のとき
- PSSとNPSの事業方針
- UBR事業方針
- 新PSSグループ創成のコンセプト

代表取締役社長 田島 秀二



COVID-19 Pandemic

2024年

新PSSグループ の創成

世界との出会い

事業体制の 変革

収益性の追求

業績の急伸
と悪化

契機は名刺交換

- Dr. Mathias Uhlen
- Roche
- ELITechGroup

PSS創業

スタートは
40年前の
血液検査業界





一時はGC注記を付さざるをえなかった事業状況

PSSにとって
大きな転換点に

2024年 PSS再生に向けた事業改革

- 事業リストラ...子会社を中心とする組織編制の見直し
- 試薬事業の運営体制の見直し
- 製造と開発の分離
- 経営体制の見直し

新PSSグループ
創成



数年間は製造事業に集中的に取り組み、収益の安定と拡大を追求する。

➤ OEM顧客と連携した生産管理体制の強化

- 5ヶ年供給契約への対応
- 大館試薬センター第二工場の活用
- 品質保証体制の強化
- 量産体制による低コスト化と安定供給の実現

➤ 国内外での販売網展開と事業拡大

➤ 最短での黒字化の達成

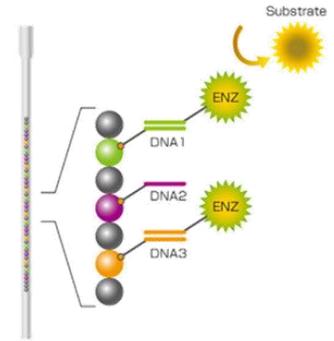




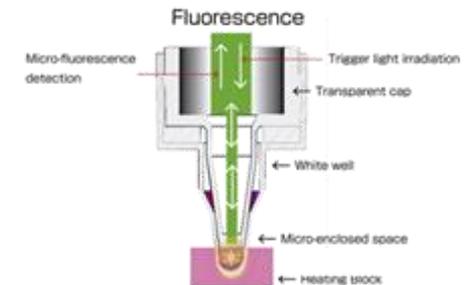
PSSの次世代新製品を中核とした製品開発を行う。

- 新規製品の開発
UBRが保有する特許技術の応用
- 新分野への参入を目指した技術開発
細胞分離・糖鎖解析・POCTシステム・次世代PCR等
- アカデミアや研究機関との共同研究開発推進

まずは、上記の中から選定した1つのシステムに集中し、開発新体制を確立する。

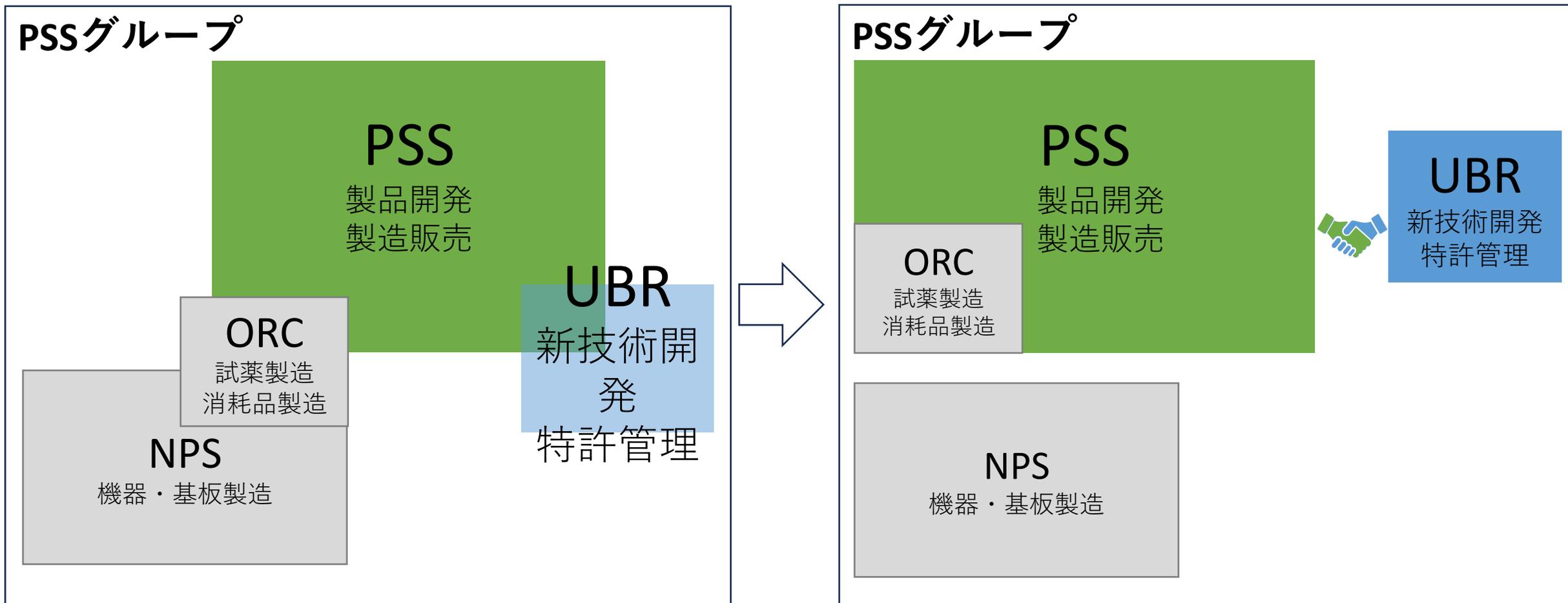


電極付分注Tip





PSS(公開企業・収益確保)とUBR(非公開企業・自在性)を組み合わせ、新PSSグループを創成していく。





第39期決算および第40期業績予想に関するご説明

取締役 増田 隆一

1. 第39期から40期にかけての事業再生



第39期第2四半期決算短信発表時には、『継続企業の前提に関する注記』を記載せざるをえない状況であった。



事業再生計画の立案と実践

第39期

販管費：前期比5億円削減

- 事業の抜本的改善策
 - ・ 役員報酬自主返納等人件費削減
 - ・ 国内事業拠点の統廃合
 - ・ 外部委託の適正化

事業リストラの実行費用計上

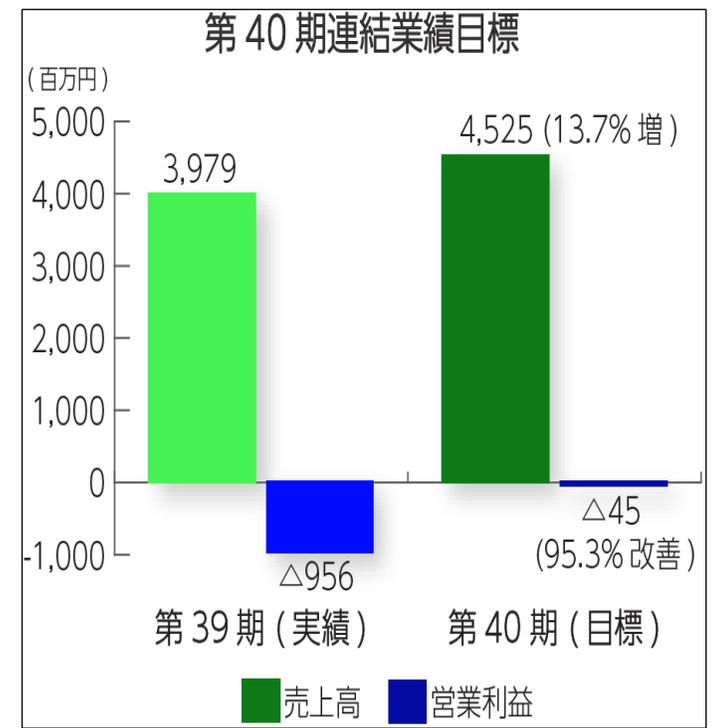
- 事業構造改善費用：4.8億円
 - ・ 拠点の集約時の移転費用
 - ・ 長期在庫の評価損
 - ・ 拠点閉鎖時の原状回復費用 等
- 減損損失：1.7億円
 - ・ 拠点の集約に伴う減損処理

第40期『コロナショック』から『事業再生、成長フェーズ』へ

目標：短期間での黒字化達成

1. 抜本的な構造改革
 - ・ 役員体制刷新
 - ・ 試薬事業の統合
2. 事業計画の見直しと事業基盤の明確化
 - ・ 製造販売事業への注力

ELITechGroupと『5年間のOEM製品供給契約』締結に合意

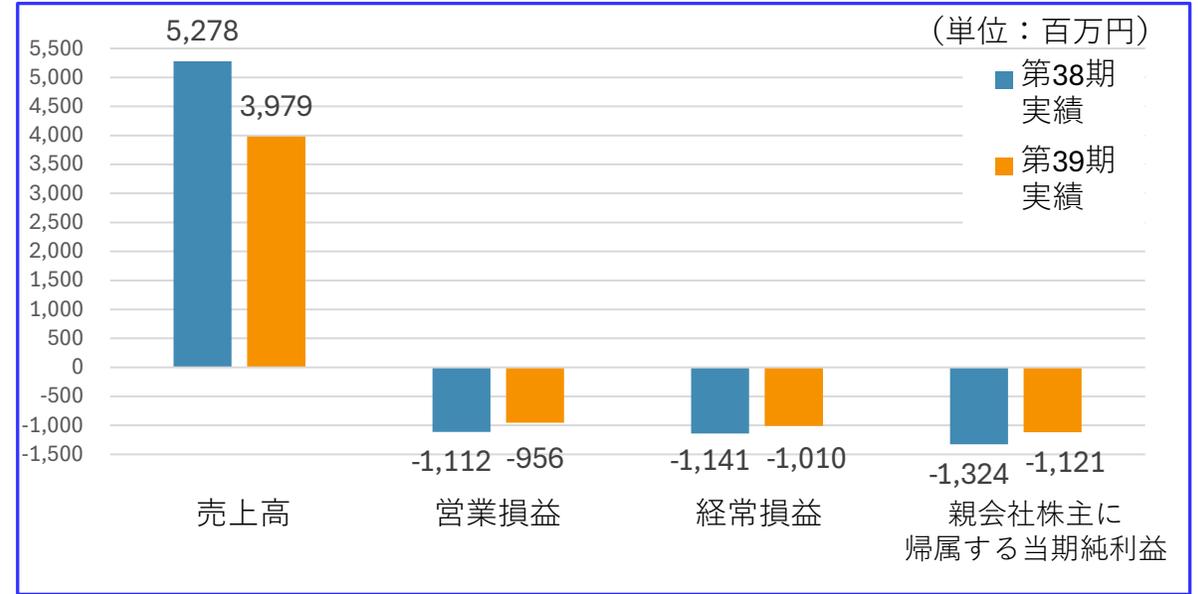


第39期決算短信発表時には、『継続企業の前提に関する注記』の記載は不要であるとの判断が可能となるまでに状況は改善している。

2. 第39期実績

(単位：百万円)

	第38期	第39期	
		対第38期	増減率
売上高	5,278	3,979	-1,299 25% 減少
営業損益	-1,112	-956	156 14% 改善
経常損益	-1,141	-1,010	131 11% 改善
親会社株主に帰属する当期純利益	-1,324	-1,121	203 15% 改善



■ Topics

< 売上高 >

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上分類の5類移行に伴うPCR検査数の減少
- 新製品の市場投入遅延影響

< 売上原価 >

- 今期、棚卸評価損を計上したことによる売上原価率の悪化影響

< 販管費 >

- 事業の抜本的改善策の実行による、販売管理費削減

< 当期純利益 >

- 事業の抜本的改善策を実行
- 事業構造改善策の実行にかかる費用を計上



(単位：百万円)

	第38期実績	第39期実績	第40期業績予想		
			対第39期	増減率	
売上高	5,278	3,979	4,525	546	14% 増加
営業損益	-1,112	-956	-45	911	95% 改善
経常損益	-1,141	-1,010	-59	951	94% 改善
親会社株主に帰属する当期純利益	-1,324	-1,121	-59	1,062	95% 改善

■ Topics

- 売上 : ELITechGroupとのOEM製品供給契約内容を織込み、対前期 + 546百万円 (+14%) を達成見込み。
- 売上原価 : 圧縮記帳効果に加えて、在庫削減計画を織込んでいる。
- 販管費 : 第39期からの事業の抜本的改善策を織込んでいる。
- 営業利益 : △45百万円の営業損失ではあるが、**第39期比 + 911百万円 (95%改善)** と大幅に改善する見通し。
- EBITDA : 第40期より黒字となる見込み。



本資料に記載の内容は、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。

これらは、本資料作成時において入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2024年9月12日

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

URL : <https://www.pss.co.jp>

(お問い合わせは、IR担当まで)

電話 : 047-303-4800

メール : ir@pss.co.jp